王さんの憂鬱な秋（1994）

背靠背、■対■
BACK TO BACK, FACE TO FACE

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 中国／香港
色彩 Color
時間 148分
初公開日 1995/11/25
公開情報 大映

【解説】
８９年にオーストラリア留学をして戻って以降の黄建新（「黒砲事件」でデビュー）の作品は、いささか冗漫なのが気になるが、巧まざる語り口で現代中国の諸問題をすくい上げ、庶民生活の機微を描いて感心させられる。本作は、前作「青島（チンタオ）アパートの夏」で主役を食う快演（主人公の隣人で水産店経営に乗り出すチンピラ役）を見せた漫才師出身の牛振華が目ざましい演技者としての成長を遂げ（９４年東京国際映画祭の主演男優賞を獲得）、二時間半の長尺を淡々と、しかし、存分に面白く見せ切る。ある町の公民館の万年副館長、ワンさんはそこそこ腹芸も使え、しかし、けじめを心得たやり手役人なのだが、前任者が辞め、いよいよ自分が館長の番と思いきや、田舎の村長あがりのマーさんがその職に就いて面白くない。右も左も分からないマーさんは善人だが職員の受けも悪く、これは早々ご退散願う他ないと、ワンさんたちは親切を装った意地悪に余念がない。けれど、マーさんは真相に最後まで気づかず、ワンさんの配慮に感謝して館を去る。ワンさんには娘があったが“一人っ子政策”のためそれで打ち止め。跡取り息子のできぬ悔しさに彼の父は、孫娘に障害があれば二人目も許されると、彼女にこっそり水タバコの残液を飲ませ続け、嫁に激怒される。いたたまれない父は、街頭に昔取った杵柄の靴修理に出て、後任の館長の政府の偉いさんの秘書ヤンの靴を故意に台無しにし、彼の剣幕を受け自らを悲劇の主人公に仕立てる。こうなればヤンは降格され、息子に館長の椅子が転がり込むかもーーの期待とは裏腹、ヤンには女性問題が持ち上がる。一方のワンさんは疲れから入院。ゆったり人生を見つめ直す心境になっていた。知り合いの院長と上手く取引きをして第二子の出産許可も得た。彼はこれ以上望むまいと考えるのだが……。秀れて風刺的なコメディであり、何より中国の“現在”をヴィヴィッドに伝えてくれる作品だ。

【クレジット】
監督 ホアン・チェンシン Huang Jian-Xin
脚本 ホワン・シン
スン・イーアン Sun Yian
撮影 チャン・シアオクアン
チュー・シオン
音楽 チャン・ターロン
出演 ニウ・チェンホワ Niu Zhen Hua
レイ・クーション

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.